

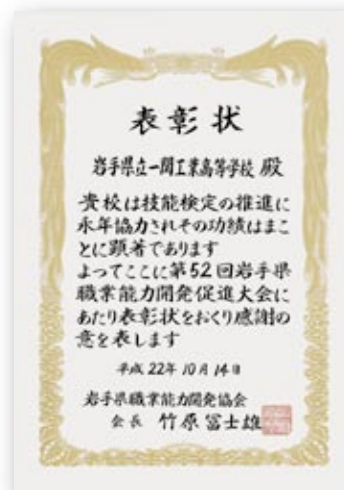
# 専門資格取得状況

〔電気科〕  
第二種電気工事士 合格者29名!

〔電子科〕  
電子機器組立3級 合格者19名!

〔土木科〕  
測量士補  
初級CAD検定 合格者7名!  
合格28名!

〔電子機械科〕  
NC旋盤3級  
普通旋盤3級  
機械保全3級  
製図検定 合格8名!  
合格9名!  
合格24名!  
合格26名!



職業能力開発協会から表彰されました。

国家資格である技能検定に長年取り組んできた功績が認められました。平成22年10月14日第52回岩手県職業能力開発促進大会において、協会会長の竹原富士雄様より本校が表彰されました。

# Kanko news.

いちのせきこうぎょうニュース



岩手県立一関工業高等学校  
岩手県一関市萩荘字釜ヶ淵50

2010.11.10

10でどこまで行ける?

測量で全国をめざせ!

車椅子が空を飛ぶ!?



専門教科の授業、勉強を通じ、第二種電気工事士など様々な資格を取得することができ、学んだ知識を生かし就職試験に挑戦した結果、東北電力株式会社から内定をいただくことが出来ました。これからの学校生活では責任感のある社会人になれるよう、日々努力を重ねていきます。



今年は例年以上の就職難と言われていましたが、自分が希望していた会社から無事、内定をいただけて本当に良かったです。



7人中2人という狭き門でしたが、無事内定をいただきました。3年間の部活動の取り組みや先生方の指導のおかげで社長との面接でも自信を持って話すことができました。今後の高校生活も気を抜かずに過ごしていきます。



□□□への入社を第一目標に、資格取得や試験勉強を必死に頑張りました。先生方の親身な指導のおかげで、苦手な面接も克服でき無事内定をいただきました。入社後は早く仕事を理解して責任ある社会人として生活していきたいです。



第一希望の企業から内定をいただけて本当に嬉しかったです。今回の内定は今までの先輩方や親身に指導して下さった先生方のおかげだと思い感謝しています。

## 就職内定速報

### 【電気科】

東北電力(株)、東京電力(株)東京支店、(株)関電工、(株)ユアテック、日野自動車(株)、一関外線工事(株)、戸部電材(株)、(株)オヤマ、(株)柴宿ファッション、(株)菅原電工、日本マニユファクチャリングサービス(株)、(株)金澤電気工業所、佐川急便(株)、(有)東部電気工事、(株)新和電設、星上通信(株)、林テレンプ(株)、テクノハカルエンジニアリング(株)東北営業所

### 【電子科】

(株)富士通ゼネラルエレクトロニクス、(株)エヌ・ティ・ティ・エムイー、郵便事業(株)東北支社、グローリー(株)、寺岡オート・ドアシステム(株)、ABCシステム(株)、(株)シグマ製作所花泉工場、栄板金工業(株)、明興電工(株)、(有)光成工業、(株)ロッテ、(株)東ハト関東工場、須川高原温泉(株)、エクナ(株)、林テレンプ(株)、(有)水江通信

### 【電子機械科】

トヨタ自動車(株)、新日本製鐵(株)君津製鐵所、東北電力(株)、東京ガス(株)(2)、(株)ピーエスジー、関東自動車工業(株)、(株)フタバ平泉、三光化成(株)、イワフジ工業(株)、川嶋印刷(株)、日本パイオニア(株)、(株)日ピス岩手、(株)森燃、上山製紙(株)、林テレンプ(株)、(株)日本アレフ仙台工場

### 【土木科】

東北電力(株)、東京水道サービス(株)、東北公営企業(株)、仙建工業(株)、恒栄電設(株)、山加電業(株)、(株)いわい、(株)千葉建設、朝田建設(株)、(株)総合土木コンサルタンツ(2)、山岸電設工業(株)、(株)東北鉄興社、岩手ニチレキ(株)、(株)岩城ピーシー、(株)マイタック、仙台市役所、(有)大和商事、(株)加藤重機(2)

(平成22年11月10日現在)

# 就職に強い一関工業高生

# ホンダエコマイレージチャレンジ 2010



大会はHonda製4ストロークエンジンをベースとし、1ℓのガソリンでどれだけ距離を走行できるか?というもの。速さではなくマシンの燃費性能を競い無限の可能性にチャレンジ、独創的なアイデアと技術を競う。コース7周 (16389.68m) を39分20秒11以内に走行する。



10月9日(土)10日(日)、「本田宗一郎杯HONDAエコマイレージチャレンジ2010第30回全国大会」に3年土木科課題研究エコラン班5名の参加で出場しました。9日の練習走行は雨で吸気系のセッティングが狂いエンジンが不調でしたが、練習走行後にエンジンを万全の状態に仕上げ、10日の決勝に挑みました。決勝では序盤に事故回避のためコースアウト。3周目以降は燃費を悪くしないように徐々にペースを上げて走行したものの、1・2周目のロスが響き規定時間より65秒遅れのゴール。完走はしましたがタイムオーバーでリタイアとなりました。



**【燃費179.029キロ、走行時間40分15秒】**

## 岩手県工業高校 ロボット競技大会



第十七回大会が九月三日釜石市桜木町の市民体育館で開催されました。県内の十一校から一九チームが自慢のロボットを操り熱戦を繰り広げられました。競技は水戸黄門が助さん格さんと諸国を漫遊し悪代官を懲らしめて姫を助け出す設定。各チームは二種類のロボットを用意し、制限時間三分で課題の達成数を競いました。予選、決勝トーナメントを行い、「盛岡工MEMORIO」が優勝！上位四チームは十月の全国大会に出場します。残念ながら敗退した関工チームは、来年に期待します。

## 技術を生かす本物の インターンシップ

「働くことの大切さ、人の役に立つことの重要性」などキャリア教育の提唱で中学生のときから、様々な職業体験を経験してきました。本校ではさらに上を目指してのインターンシップを経験します。現実に厳しい昨今の労働市場で本当に必要とされる人材に育つよう、専門的な知識とスキルを学び、さらにそれらの知識を生かせる職場でのインターンシップこそが、「本物のインターンシップ」となり、生涯にわたり活用できる能力を育成します。



2、3年次に実際の現場でインターンシップが行われます。

工業高校出身の強みは、



厳しい視線で審査される全国大会



H22.9.3 岩手日日



八月石巻市で開催された「高校生ものづくりコンテスト東北大会測量部門」において岩手県代表で出場した本校の四人が優勝し、十月の茨城県土浦市での全国大会出場を決めました。

前回六位だった〇七年に続き三年ぶり二度目となりました。

大会では秋田工業高校と同点になったもののタイム差の一分十三秒で競り勝ち優勝を決めました。

# ものづくりコンテスト全国大会参加報告

東北大会を見事優勝し、全国大会に出場した本校選手たちも10月16日、17日開催された全国区大会ではわずか数ミリの差で入賞を逸しました。全国大会参加校・本校代表は次の通り。

- |     |                    |    |                   |
|-----|--------------------|----|-------------------|
| 北海道 | 北海道滝川工業高等学校        | 東北 | 岩手県立一関工業高等学校      |
| 関東  | 神奈川県立向の岡工業高等学校     | 茨城 | 茨城県立水戸工業高等学校      |
| 北信越 | 金沢市立工業高等学校 (第3位)   | 東海 | 名古屋市立工芸高等学校 (準優勝) |
| 近畿  | 京都市立伏見工業高等学校       | 中国 | 山口県立萩商工高等学校       |
| 四国  | 愛媛県立八幡浜工業高等学校 (優勝) | 九州 | 大分県立大分工業高等学校      |

東北代表  
一関工業高等学校

## 高校での「ものづくり体験」を大学や企業が高く評価しています。

工業系の学部・学科を有する全国の大学が今、工業高校に大きな期待を寄せています。工業高校出身者の強みは、専門科目の実習や課題研究を通して、「ものづくりの基礎」を学ぶことができるからです。工業高校の出身者は、何をやればよいのか、道具をどう使えばいいのかをきちんと理解することができるのです。普通科では体験できない工業高校での実習や課題研究の経験を生かして、潜在能力を伸ばし大きく成長する学生がほとんどで、工業高校出身者の学生の評価がますます高くなっています。

私は、幼い頃から電子機器やコンピュータに興味があり、中学校を卒業したら工業科がある学校へ進学しようと考えていました。自宅から近い普通高校にも工業科が併設してあるのですが、より深く専門知識・技術を学びたいと考えたこと、中学の担任の先生から、企業が必要とされるのは普通高校出身者より「技術や知識を身に付けた専門高校出身者だ」というお話を聞き、ぜひ工業高校で学びたいと思ったのが入学への大きなきっかけでした。今でも専門性が高い工業高校を選んで良かったと思っています。

工業高校の大きな特徴として、将来の仕事で十分に役に立つ検定や資格が多く、指導を受けながら挑戦できるということがあります。

昨年夏に国家資格である技能検定電子機器組立て3級を受験しました。その筆記試験では、普段学習している専門的知識を問う問題が多く出題されており、日頃の学習の基礎や積み重ねが重要であることを感じました。実技試験では、当初は制限時間の一時半以内で作業を完了させることが難しく、二時間以上かかった時もあり、毎日のように遅くまで学校に残り、部品の加工や塗装の方法を考え練習を積み重ねることによって、作業効率が上がりました。試験本番では練習で培ってきた技術を最大限生かし、自己最速の時間で作業を完了させて、見事合格することができました。

高校の専門分野は、学年が上がるごとに難しさと専門性が高まり、理解までに時間を要するようになります。そこで意識していることは、どのような問題でも疑問を持ったら解決するまで妥協をしないことです。私は少人数で行う実習や放課後の資格取得の勉強では、何時間かかけて取り組んでもやりがいを感じ、どんどん興味が湧いて、ものづくりの素晴らしさを感じることができました。

最後に、本校で学んだことを誇りに思い、残り半年という時間を大切かつ有意義に過ごしていきたいと考えています。



「ものづくり体験」にあり。



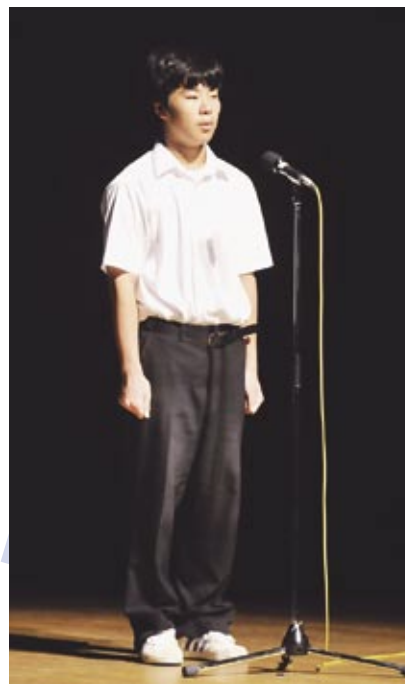
# 関工部活動 ニュース

## サッカー同好会設立承認

7月23日(金)に行われた臨時生徒総会において、サッカー愛好者から要望のあった、サッカー同好会の設立が認められました。来年度からの大会出場を目指し、練習に励んでいます。



- ラグビー部 **県高総体7人制優勝**
- 弓道部 **県高総体団体準優勝**
- 卓球部 **県高総体団体ベスト16**
- 詩吟同好会 **全国高文祭(宮崎)県代表**



八月二日(月)に宮崎県高鍋市で第三十四回全国高等学校総合文化祭吟詠剣詩舞部門の大会が行われ、岩手県代表として、本校から出場しました。三十七校を越える中、二日前から宮崎県に入り、練習やリハール等を重ね、本番では自分の役目を立派に果たしました。構成吟「イーハトーブの風・浄土」の中で、独吟「雨ニ毛負ケズ」と合吟「岩手富士」の二題を吟じました。「みんなの前できちんと発表できるか不安だったが、なんとか吟することができた。今回の参加で他県の代表校の発表を聞けていい勉強になった」と述べ、初めての全国大会を経て多くのことを経験したようでした。

## 詩吟、全国高文祭へ。

## ボランティア 「空飛ぶ車いす」活動



「空飛ぶ車いす」は、日本の工業高校生が不要となった車いすを修理し、アジアの子ども達にプレゼントする活動です。アジアを旅行する人の手を借り、飛行機で運ぶため「空飛ぶ車いす」と呼ばれています。修理ボランティア校は、全国で延べ三十二校にのぼり、九十九年から十一カ国に七十一台がプレゼントされておりあります。岩手県では平成十五年からは県内の工業高校を中心に十一校で「いわて車いすプロジェクト」として活動が始まり、その後、毎年継続して行われています。「課題研究」という教科の授業や放課後の活動として取り組んでいます。



高校野球岩手大会(対盛岡市立)延長13回サヨナラ勝利

